

<p>授業科目</p> <p>オセアニア文化研究演習 I</p>	<p>単位</p> <p>2 単位</p>
<p>授業担当者</p> <p>松山 利夫</p>	<p>授業期間</p> <p>前期</p>
<p>授業の題目と概要</p> <p>「アボリジナル史の人類学的構築」</p> <p>アボリジナルの視点に立った歴史の構築とその意味を考える。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>内容： 本演習においては、オーストラリアにおける植民地圧の違いがもたらしたアボリジナル・コミュニティの多様性を検証し、アボリジナル史の人類学的な再構築を試みる。</p> <p>計画： まず、植民地圧が相対的に小さかったノーザンテリトリーのコミュニティをとりあげる。次いで 1830 年代以降、20 世紀中葉まで植民地支配下におかれた南東部の諸都市におけるアボリジナル・コミュニティを検討する。さらに大規模農牧業地域の地方町のコミュニティをとりあげ、最後にこれら多様なコミュニティに生きるアボリジナルの生活の論理を通じて、アボリジナル史の再構築を試みる。</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>参考にする資料などは多岐にわたるため、その都度必要に応じて指示する。</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>各授業時間に行う討論にもとづいて評価する。</p>	
<p>その他の留意事項</p>	